


---

# 2025 年 9 月期 第 1 四半期 決算説明資料

---

2025年2月14日  
株式会社学研ホールディングス



# INDEX

---

<b>2025年9月期第1四半期</b>	<b>決算概要</b>	……	<b>P.03</b>
<b>教育分野</b>	<b>業績</b>	……	<b>P.11</b>
<b>医療福祉分野</b>	<b>業績</b>	……	<b>P.15</b>
<b>決算補足資料</b>		……	<b>P.17</b>

# 2025年9月期 第1四半期 決算概要

---

# 2025年9月期第1四半期 連結業績サマリー

## 売上高

**459** 億円  
前期比  
**+7.5%** ↗

出版事業の復調、桐原書店のグループイン、介護施設の棟数増加により増収

## 営業利益

**6.4** 億円  
前期比  
**▲22.6%** ↘

コスト管理を強化したものの、医療福祉分野において物価高騰の影響により減益

## 経常利益

**5.2** 億円  
前期比  
**▲48.6%** ↘

営業利益の減少と投資持分法損益の減少により減益

## EBITDA\*1

**15.8** 億円  
前期比  
**▲10.5%** ↘

のれん償却費増加も、営業利益の減少により減益

## 当期純利益\*2

**8.1** 億円  
前期比  
**+8.5億円** ↗

前期に発生した有価証券売却損が無くなったことにより、当期純利益は増益

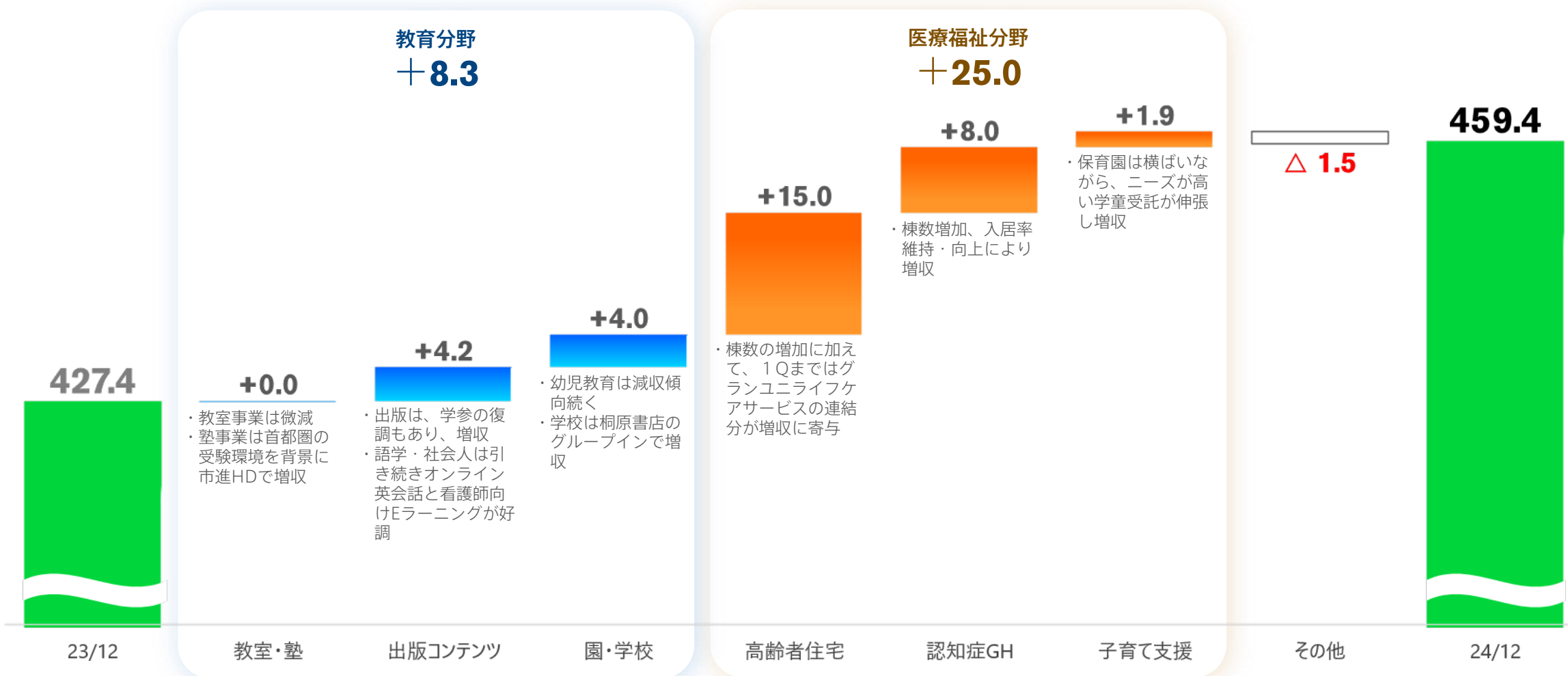
\*1 営業利益・減価償却費・のれん償却費の合算

\*2 親会社株主に帰属する当期純利益

# 売上高 増減分析

単位：億円

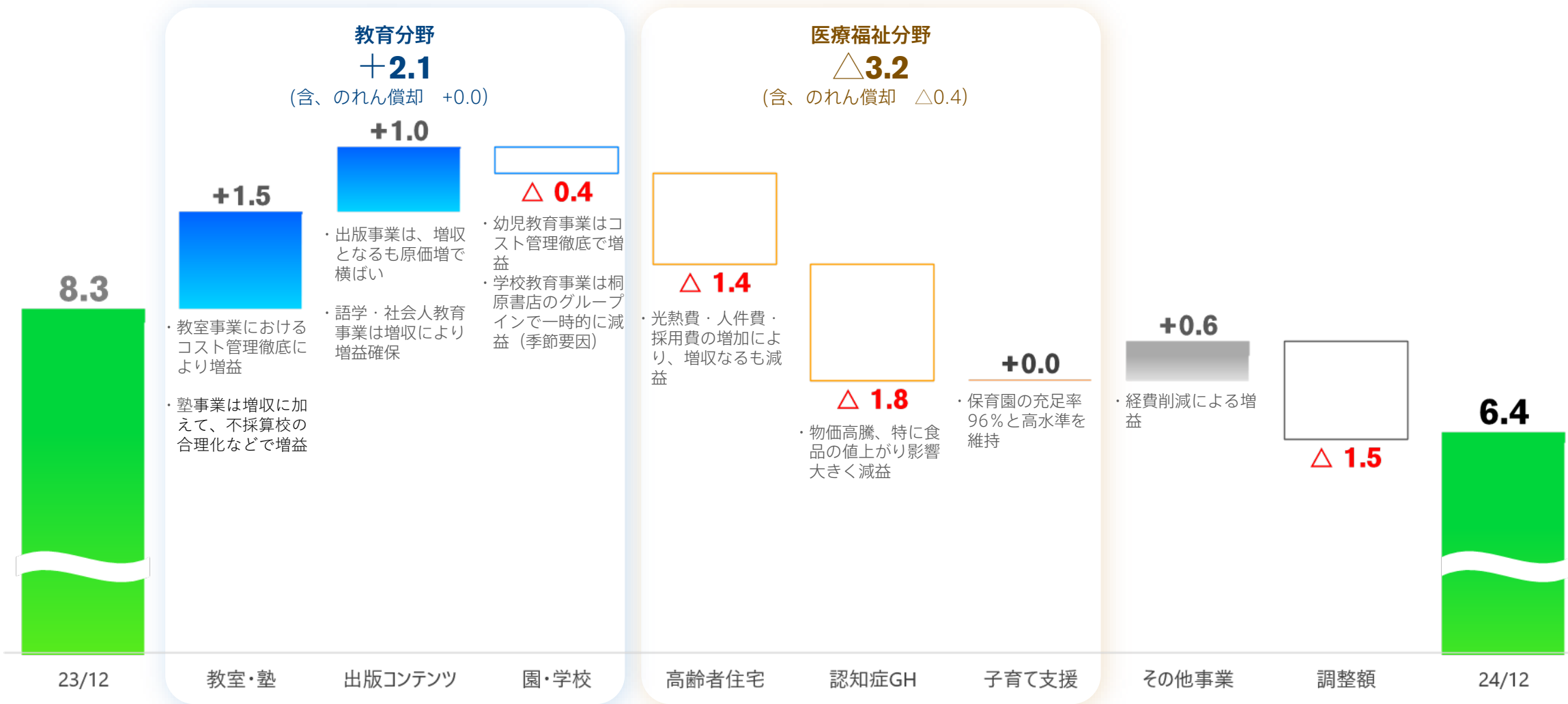
教育分野は市進HDの増収と、出版の復調や語学・社会人での伸張で、医療福祉分野は施設増と入居率の維持で増収



# 営業利益 増減分析

単位：億円

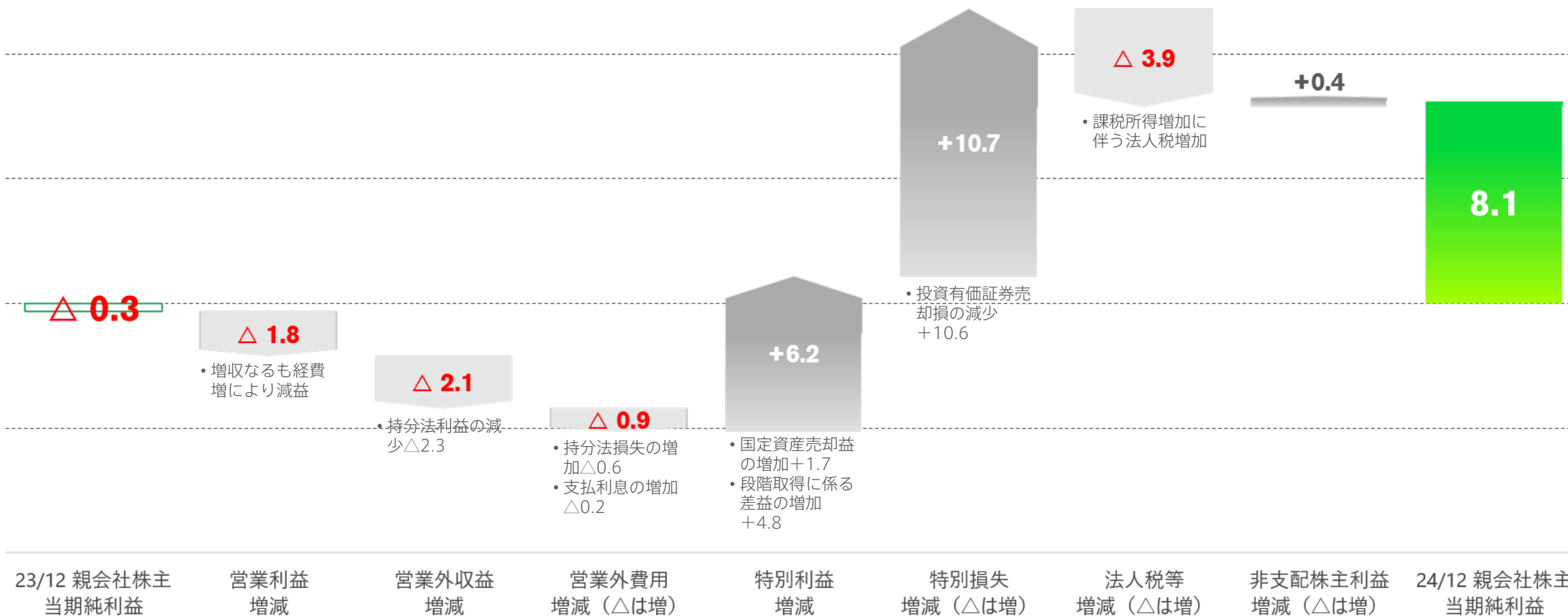
教育分野は増収並びにコスト管理強化で増益となるも、医療福祉分野は光熱費等の物価高騰により減益となり、連結では減益となった



# 親会社株主に帰属する当期純利益の増減分析

単位：億円

前期発生した株式売却損の消滅を主因に、当期純利益では増益

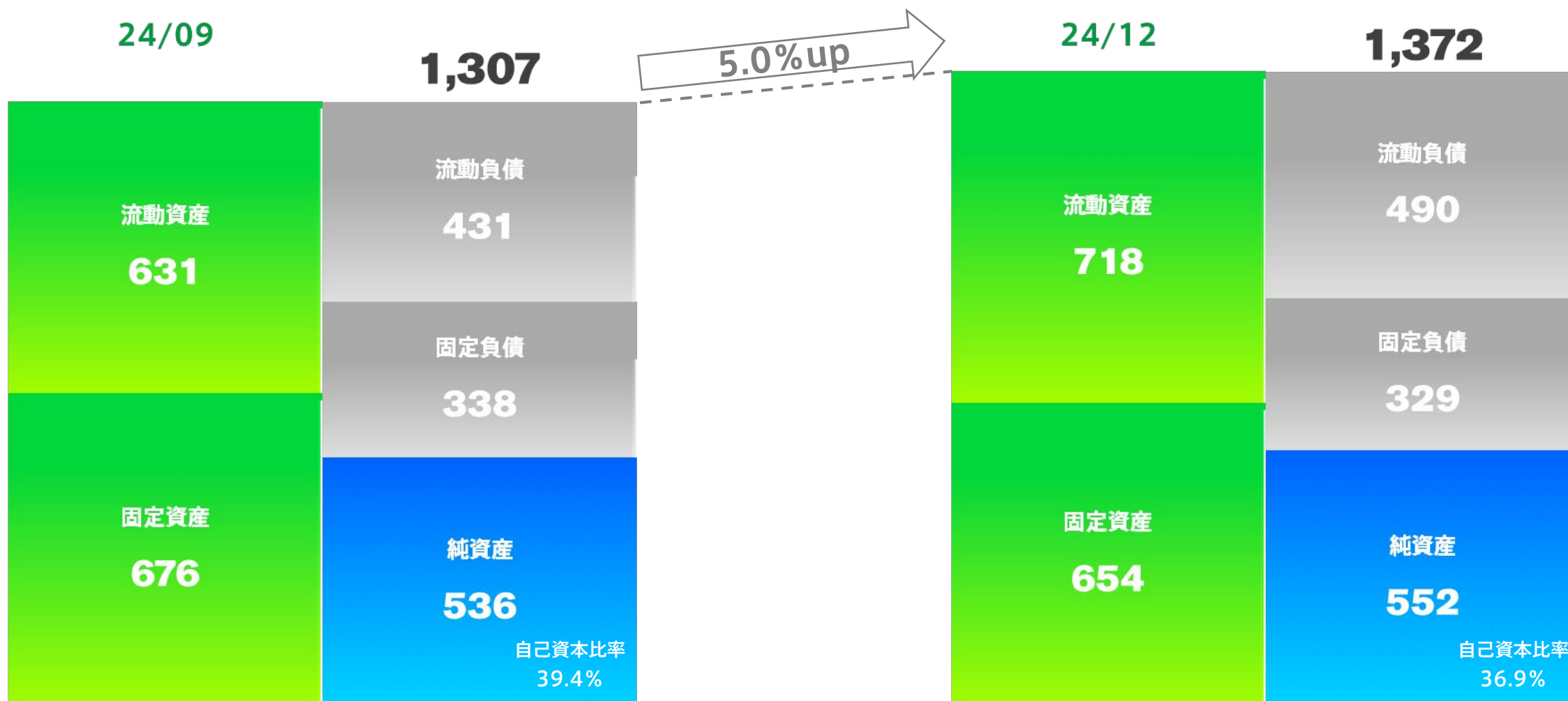


単位未満は切捨て

# 連結財政状態

単位：億円

事業拡大により、総資産は5.0%増加。自己資本比率は36.9%に低下



単位未満は切捨て



# 2025年9月期 第1四半期セグメント別業績

単位：億円

セグメント 事業	2024年9月期	1Q実績	2025年9月期	1Q実績	増減（前年同期比）	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
<b>教育分野</b>	<b>206.7</b>	<b>0.8</b>	<b>215.0</b>	<b>3.1</b>	<b>+8.3</b>	<b>+2.2</b>
教室・塾	121.1	-0.1	121.2	1.4	+0.0	+1.5
出版コンテンツ	57.5	3.4	61.7	4.5	+4.2	+1.0
園・学校	28.0	-1.3	32.1	-1.8	+4.0	-0.5
のれん	—	-1.0	—	-1.0	—	0.0
<b>医療福祉分野</b>	<b>204.5</b>	<b>9.9</b>	<b>229.6</b>	<b>6.7</b>	<b>+25.0</b>	<b>-3.2</b>
高齢者住宅	95.9	3.9	110.9	2.9	+15.0	-0.9
認知症グループホーム	92.4	6.6	100.5	4.7	+8.0	-1.8
子育て支援	16.2	0.5	18.2	0.5	+1.9	+0.0
のれん	—	-1.1	—	-1.6	—	-0.4
<b>その他</b>	<b>16.2</b>	<b>1.4</b>	<b>14.6</b>	<b>2.0</b>	<b>-1.5</b>	<b>+0.6</b>
調整額	—	-3.8	—	-5.3	—	-1.5
<b>グループ合計</b>	<b>427.4</b>	<b>8.3</b>	<b>459.4</b>	<b>6.4</b>	<b>+31.9</b>	<b>-1.8</b>

単位未満は切捨て

# ESG指数への採用

昨年12月に「FTSE Blossom Japan Index」での採用が決まり、「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」、「S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数シリーズ」に続き、GPIFで採択されているESG指数のうち、3つで採用されることとなりました

## 総合型指数

New



FTSE Blossom  
Japan Index

FTSE Blossom  
Japan Index

国内株

1兆5,223億円



FTSE Blossom  
Japan Sector  
Relative Index

FTSE Blossom  
Japan Sector Relative Index

国内株

1兆4,417億円

## テーマ指数



S&P/JPX  
カーボン・エフィシエント  
指数シリーズ

国内株

2兆3,117億円

外国株

4兆8,769億円

# 教育分野 業績

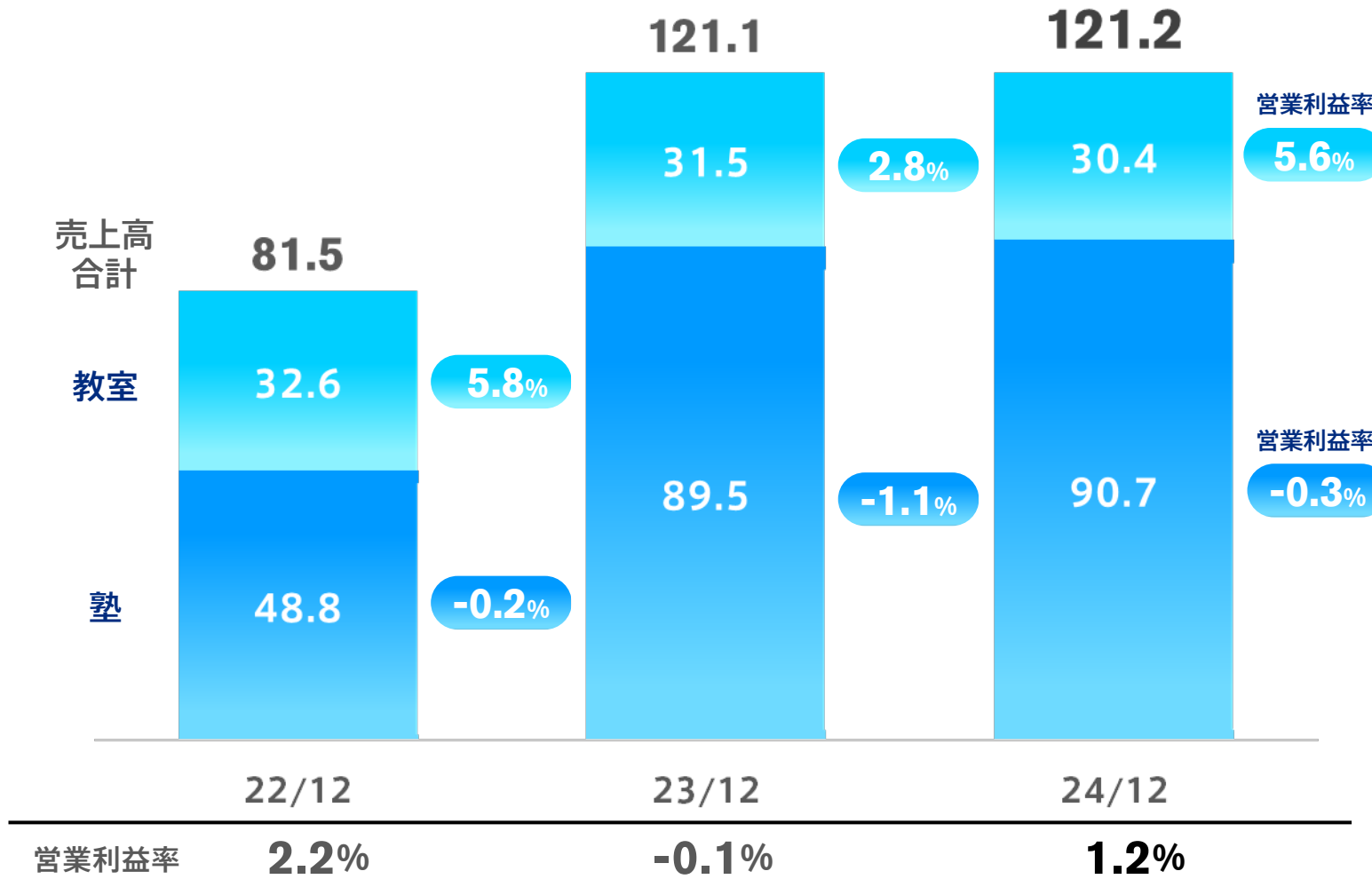
---

幅広く子どもたちの学習を支援する3事業を展開。社会人向けのサービスも拡充しています。

- 1)教室・塾事業…………… 日常学習を支援する幼児教室・学研教室に加え、各地で進学塾を運営
- 2)出版コンテンツ事業… 児童書、学習参考書等の出版物や、eラーニング等の制作・販売
- 3)園・学校事業…………… 幼保園等への物販や教科書・学校向け教材の制作・販売

# 教室・塾事業\* 業績サマリー

単位：億円



## ポジティブ要素

- 市進ホールディングスでの増収とグループ塾の1校舎あたりの生徒数の増加
- 教室事業での経費削減
- 教室事業での会員数回復傾向

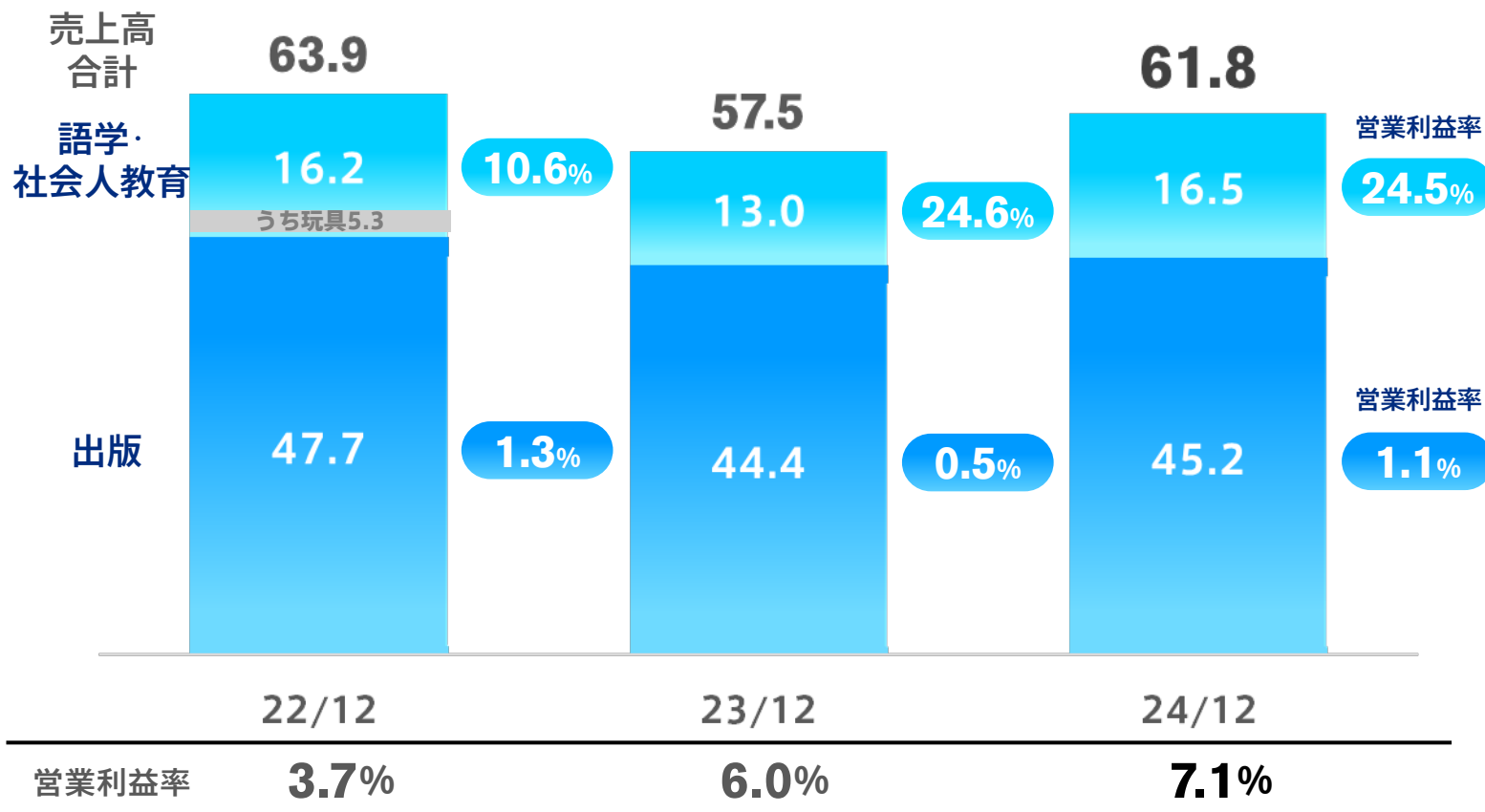
## ネガティブ要素

- 公立高校全入化傾向による通塾動機の揺らぎ
- 年内入試人気による高3生の通塾期間短縮

\*塾事業は市進ホールディングスの2025年2月期第3四半期(9~11月)の業績を取り込んでいます。

# 出版コンテンツ事業 業績サマリー

単位：億円



## ポジティブ要素

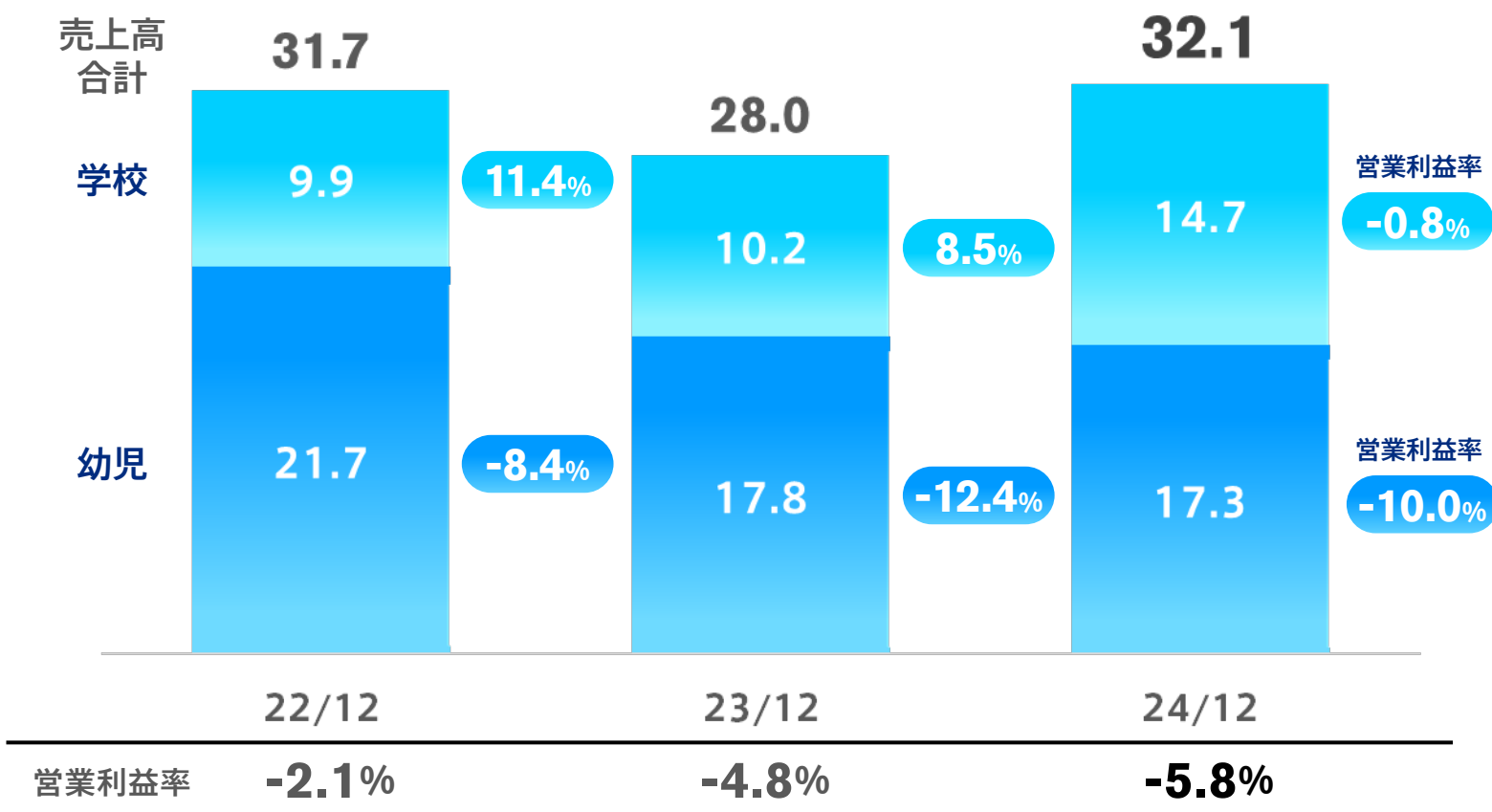
- 返品率が前年同期比で改善 (△5.1%pt.)
- 高校学参書の好調
- 看護師eラーニング事業の業績順調
- オンライン英会話事業も有料会員数が増加

## ネガティブ要素

- 製造原価高等によるコスト増
- 書店数減による新刊初回配本数の減少

# 園・学校事業 業績サマリー

単位：億円



## ポジティブ要素

- ・ 桐原書店グループインによる増収
- ・ 幼児事業では経費削減により赤字縮小

## ネガティブ要素

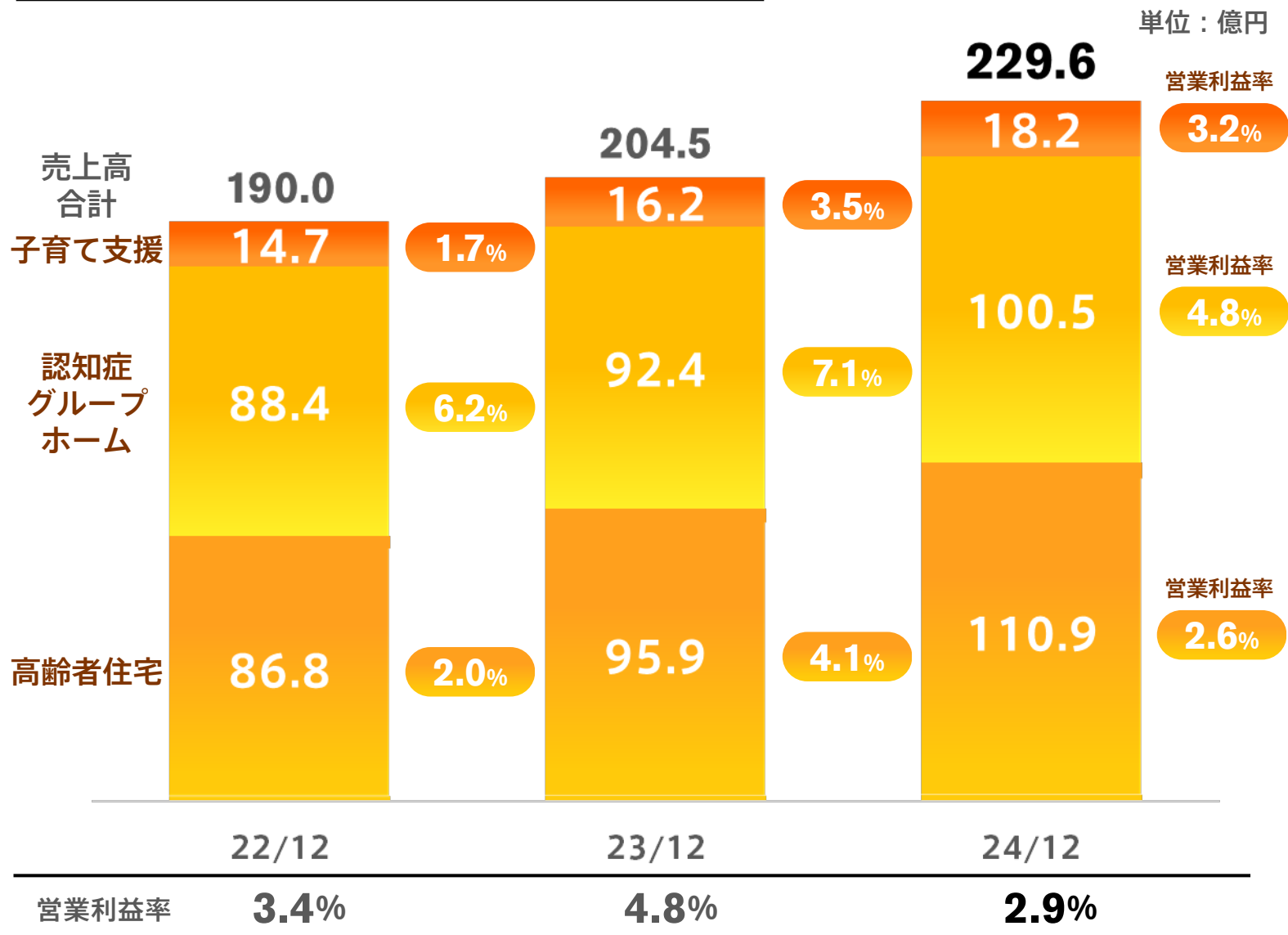
- ・ 新設園減少による新規備品需要の縮小と、既存園が設備投資の抑制傾向があるため、園向け大型遊具・備品受注が回復せず
- ・ 桐原書店のグループインで学校事業でも季節変動要因が増大（2Q以降で利益が出る予定）

# 医療福祉分野 業績

3つの事業で少子高齢化の社会課題に挑み、多世代が安心して暮らせる街づくりを進めます。

- 1) 高齢者住宅事業 … サービス付き高齢者向け住宅、介護サービス拠点等の企画・開発・運営
- 2) 認知症グループホーム事業 …… グループホームの運営や関連サービスの企画・開発・運営
- 3) 子育て支援事業 … 保育園・こども園・学童施設・児童発達支援施設等の企画・開発・運営

# 医療福祉分野 業績サマリー



## ポジティブ要素

- 新規開設順調 (1Q)
  - 高齢者住宅 +4事業所
  - 認知症GH +6事業所
- 入居率、充足率は高水準で推移
  - 高齢者住宅 96.3%
  - 認知症GH 97.4%
  - 保育園 96.3%

## ネガティブ要素

- 食材費等の物価高騰に伴うコスト増
- 水道光熱費の需要期における価格再上昇
- 高齢者住宅において新棟の大型化により一時的な入居率の低下



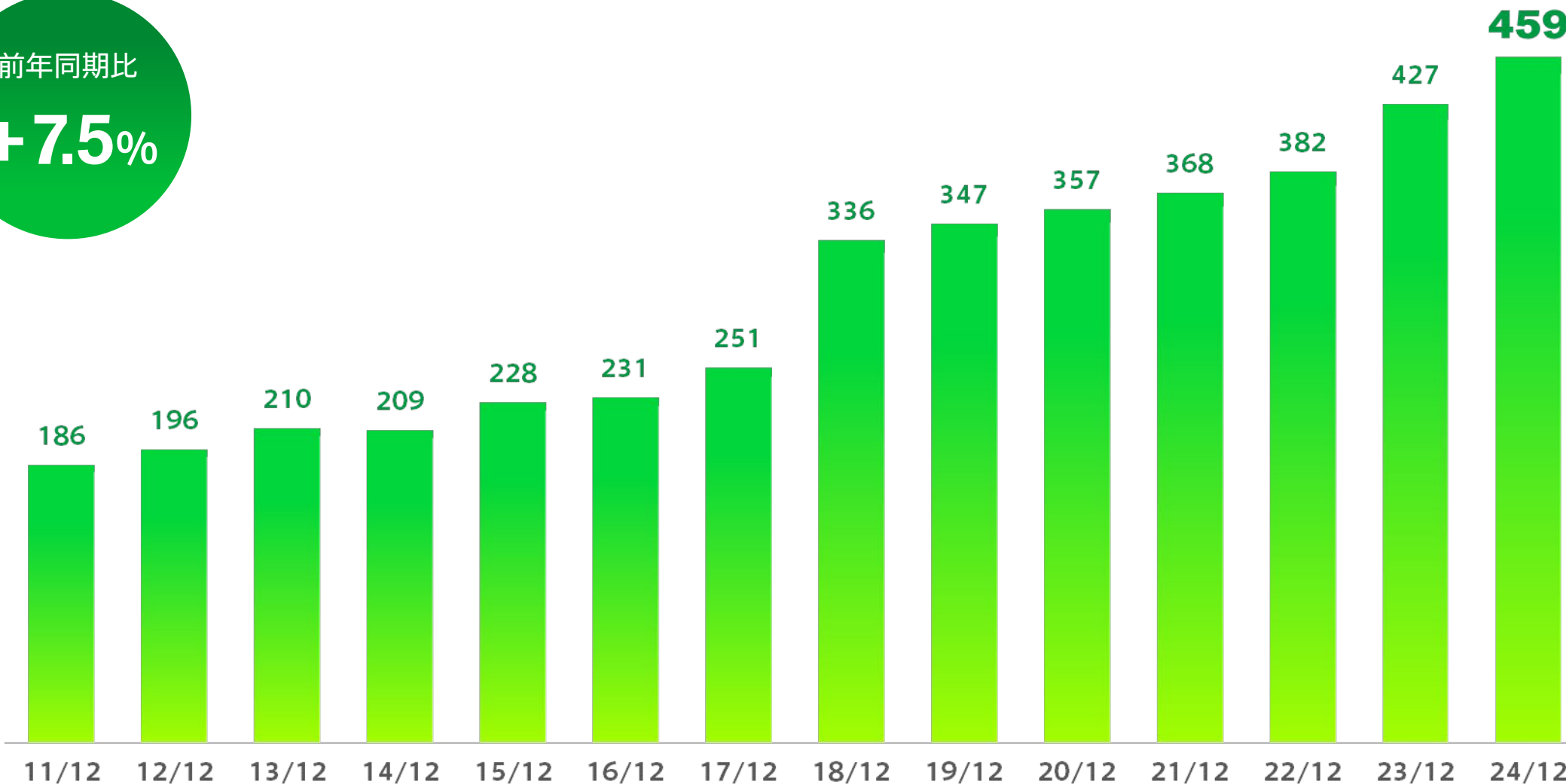
# 決算補足資料

A large, vibrant green brushstroke graphic that starts from the bottom left and sweeps across the bottom of the slide towards the right, adding a dynamic and modern feel to the presentation.

# 1Q 売上高 推移

単位：億円

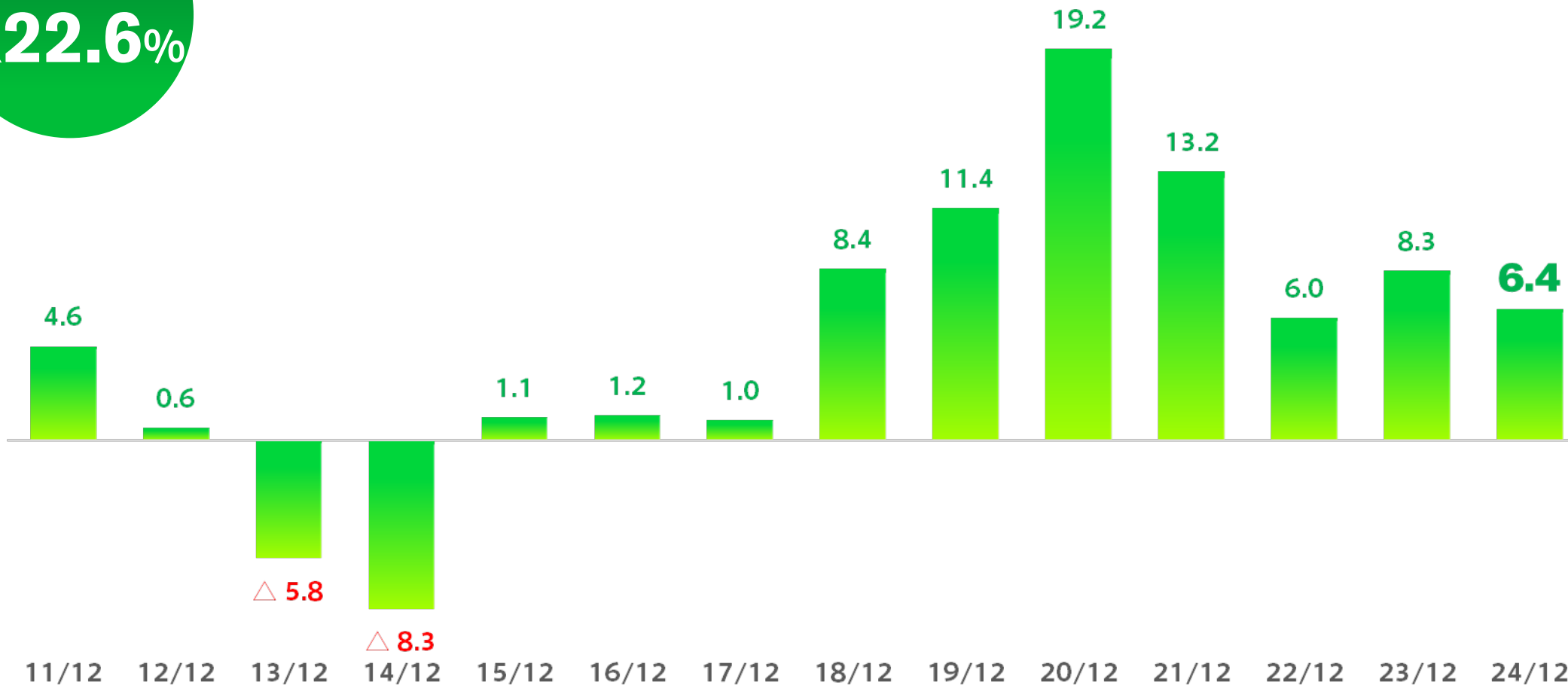
前年同期比  
**+7.5%**



# 1Q 営業利益 推移

単位：億円

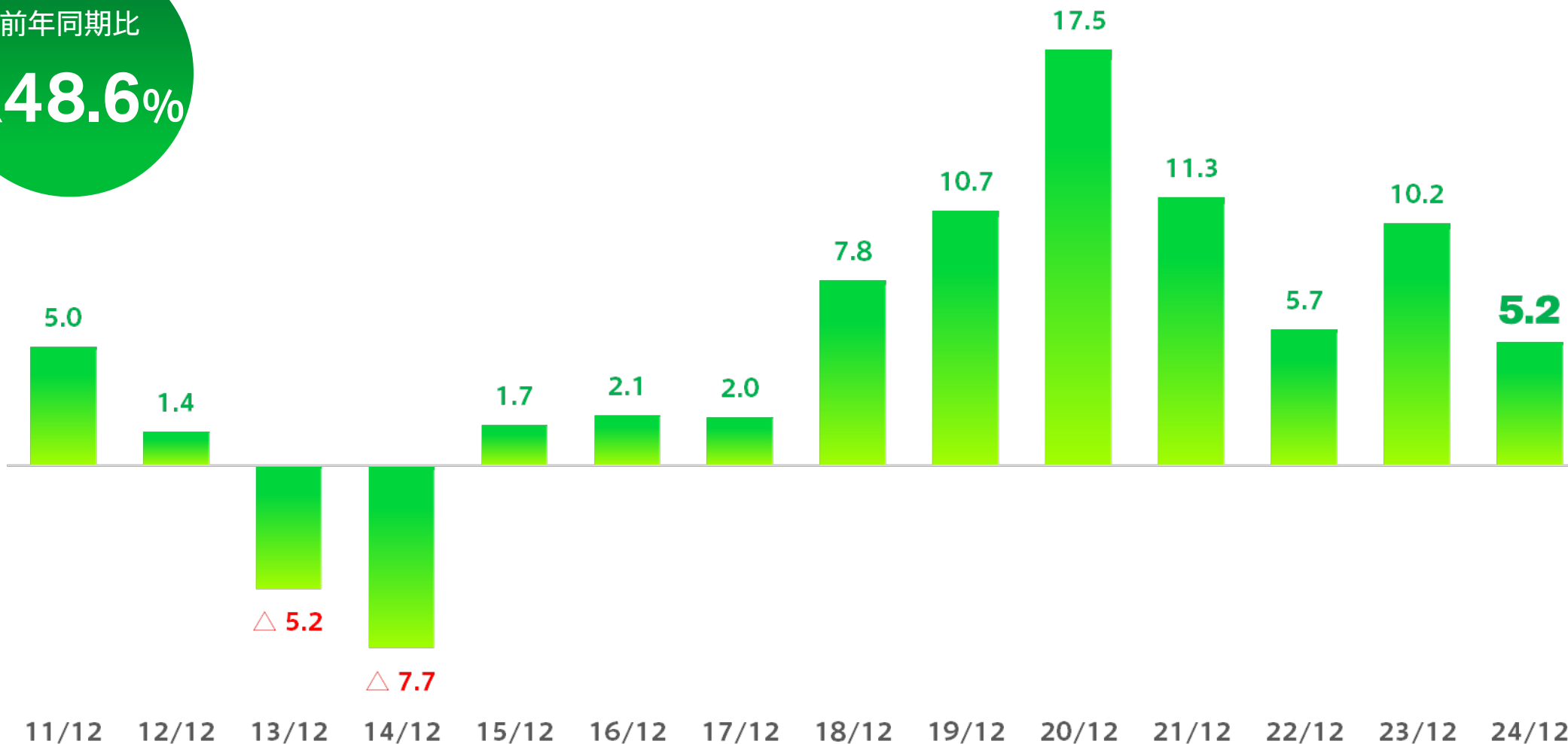
前年同期比  
▲22.6%



# 1Q 経常利益 推移

単位：億円

前年同期比  
▲48.6%

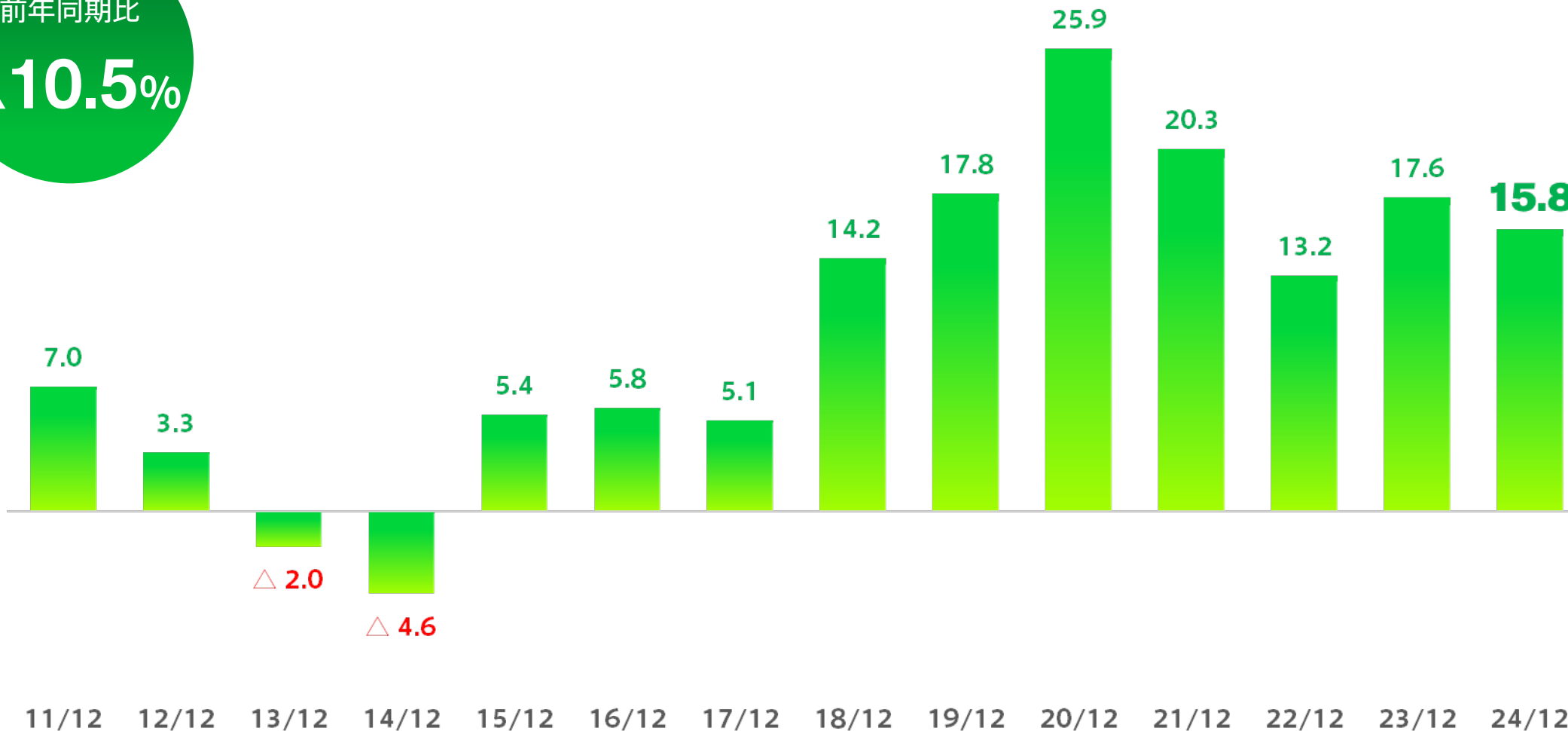


# 1Q EBITDA\* 推移

※営業利益・減価償却費・のれん償却費の合算

単位：億円

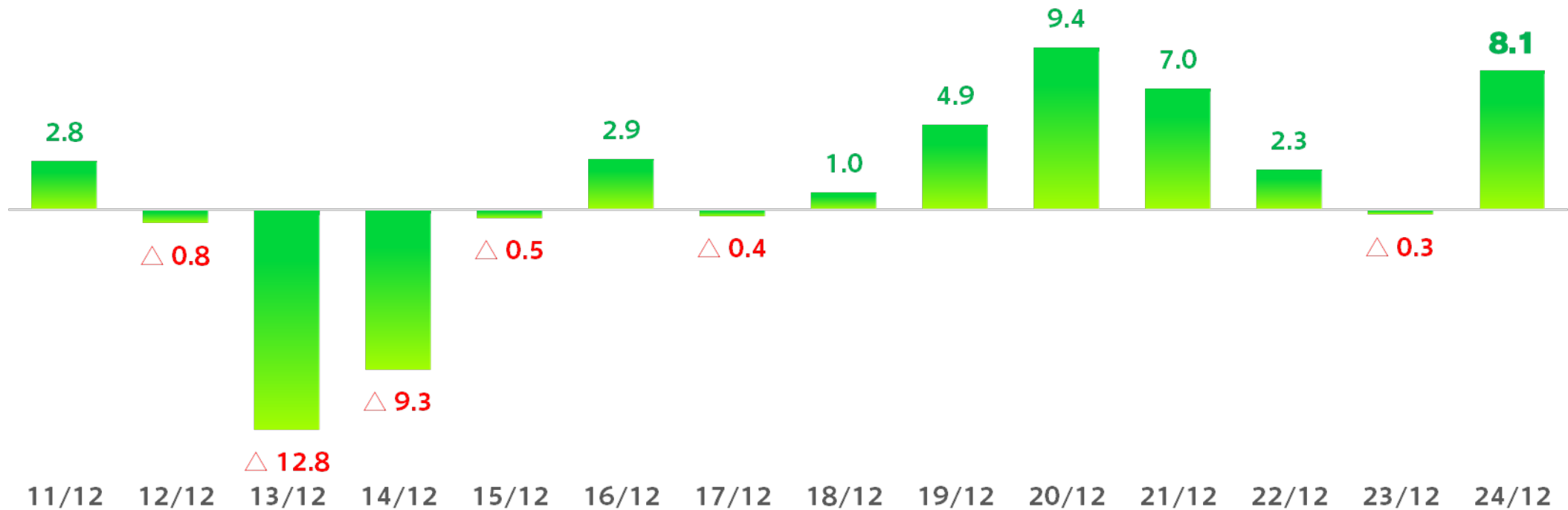
前年同期比  
▲10.5%



# 1Q 当期純利益 推移

単位：億円

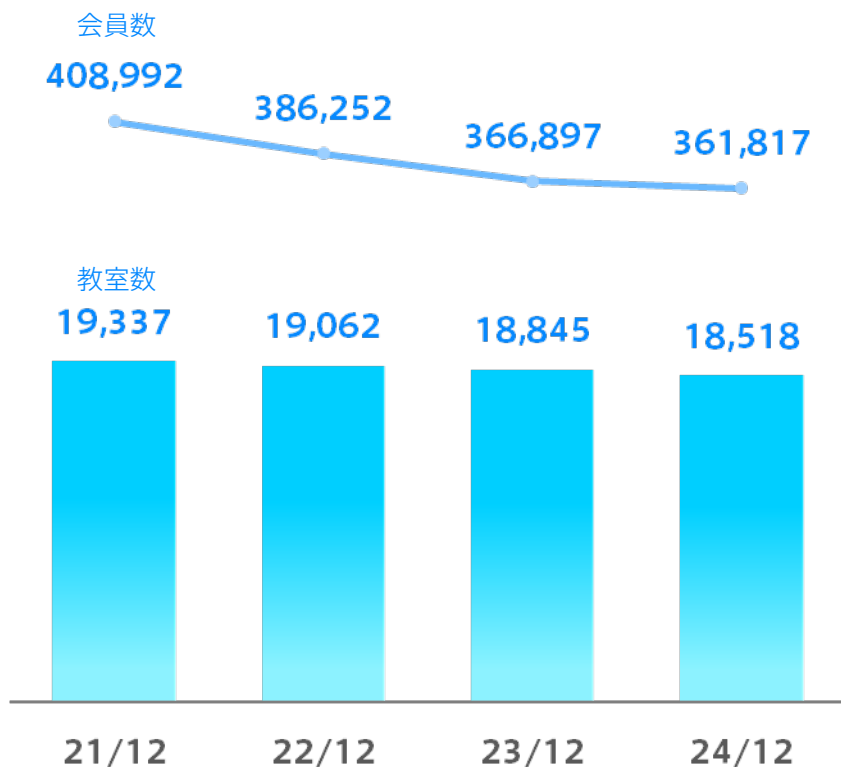
前年同期比  
**+8.5**億円



# 教室・塾事業 会員数・教室数

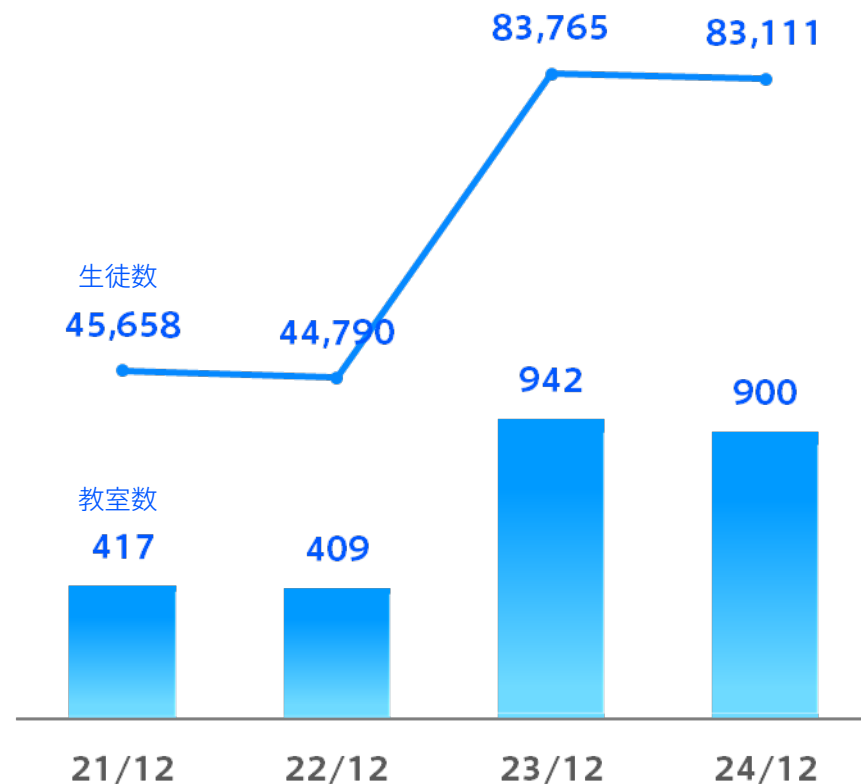
教室事業では、幼稚園設置型やショッピングセンター内教室数が増加し新規会員は回復するも、卒業・退会者も多く会員数は回復途上  
塾事業は市進ホールディングスを中心に教室数は増加。塾グループ全体として、生徒数は回復途上

## 教室



※会員数、教室数は学研教室と幼児教室の合算です。

## 塾



※2023年5月に(株)エヌイーホールディングスがグループイン  
※2023年7月に(株)市進ホールディングスを連結化

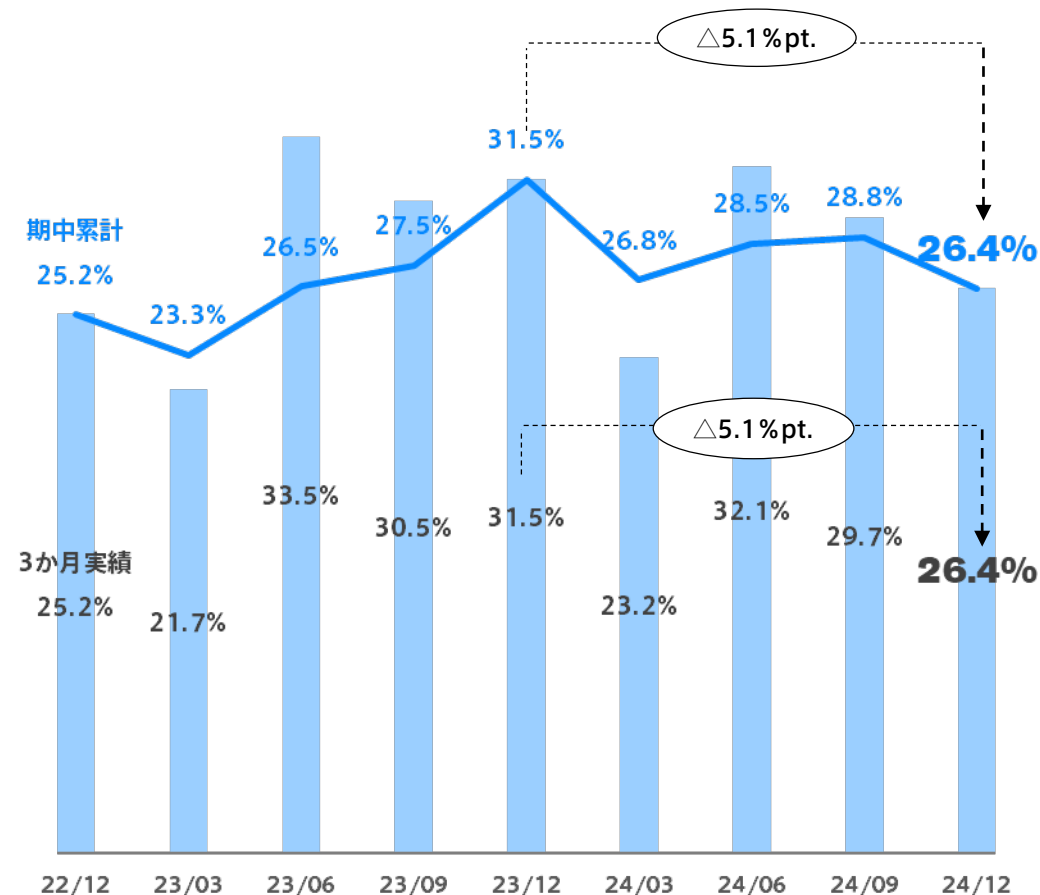
# 出版事業 書籍新刊点数／返品率\*

1 Qの新刊点数は昨年比増加するも、1 Q返品率は26.4%で前年同期比△5.1%pt.と改善

## 書籍新刊点数（期中累計）

	22/12	23/12	24/12
児童書	46	42	46
学習参考書	27	22	30
実用書	60	40	58
ムック	6	11	8
その他書籍	24	30	35
<b>合計</b>	<b>163</b>	<b>145</b>	<b>177</b>

## 書籍返品率

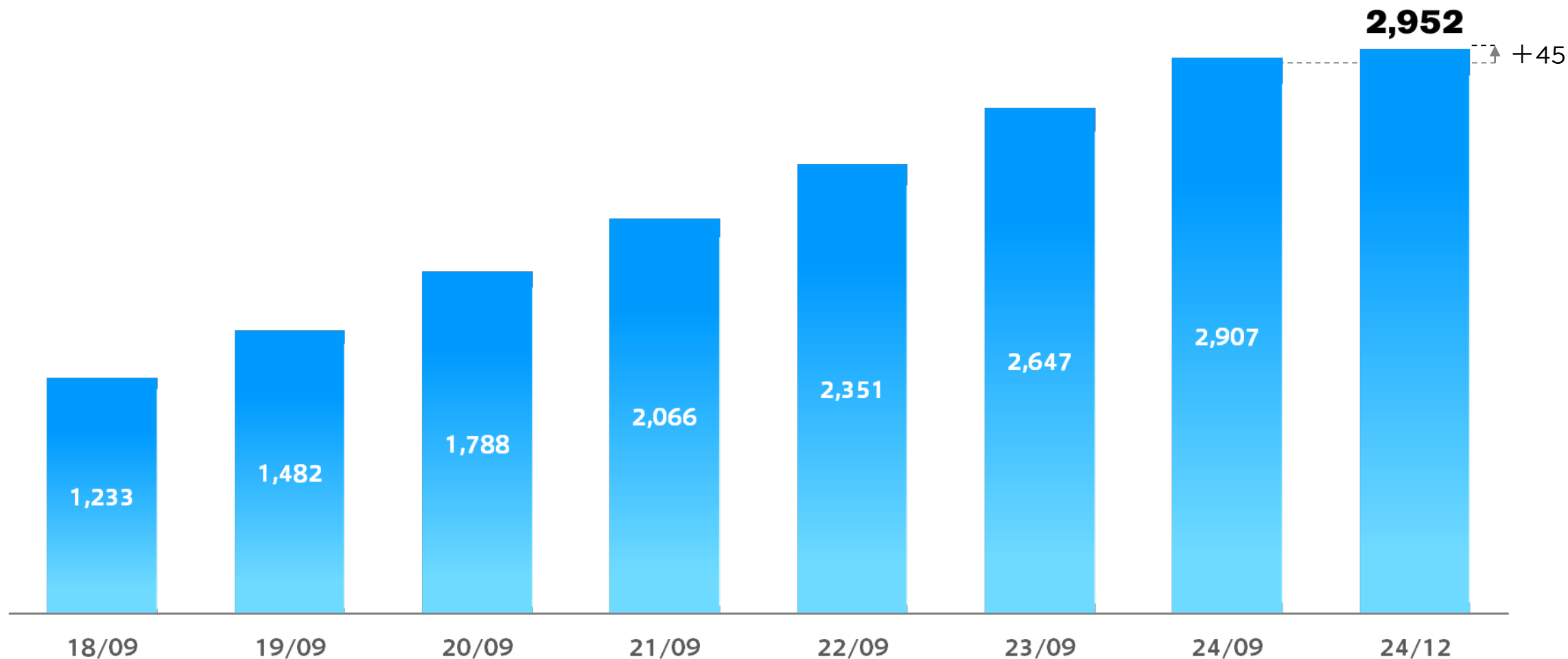


\*書籍（雑誌は含まず）新刊点数及び書籍返品率は、（株）Gakken と（株）地球の歩き方の合算です。



# 語学・社会人教育事業 看護師eラーニング契約病院数

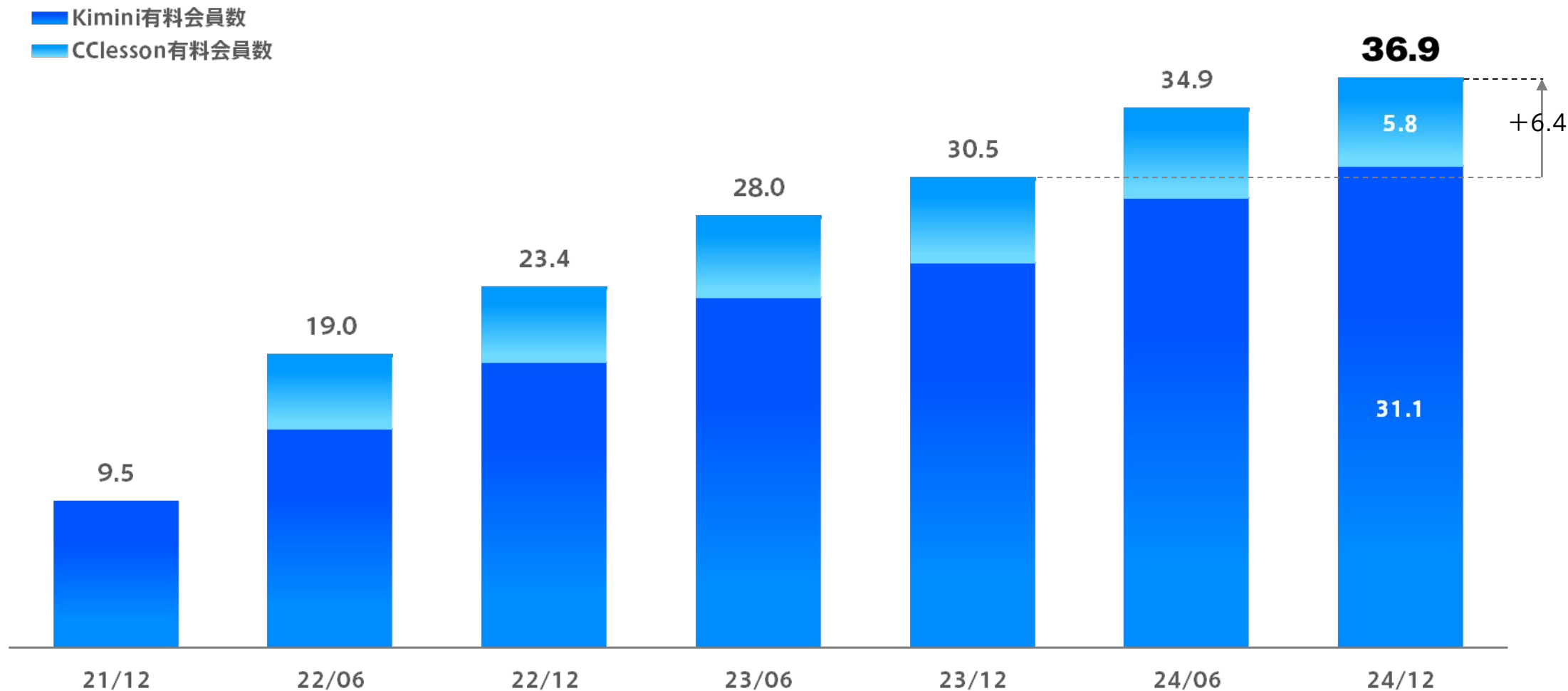
通常、病院の新年度となる3Q（4月以降）で増加する傾向にあるが、今期に入っても増加傾向は維持



# 語学・社会人教育事業 語学オンライン会員数

Kiminiの認知度Upに加え、プロモーションが奏功し、英語、中国語ともに登録会員数が順調に推移

単位：1,000名



# 学校事業 教科書改訂スケジュール

△ 検定：文部科学省の調査（教科書としての適正性）

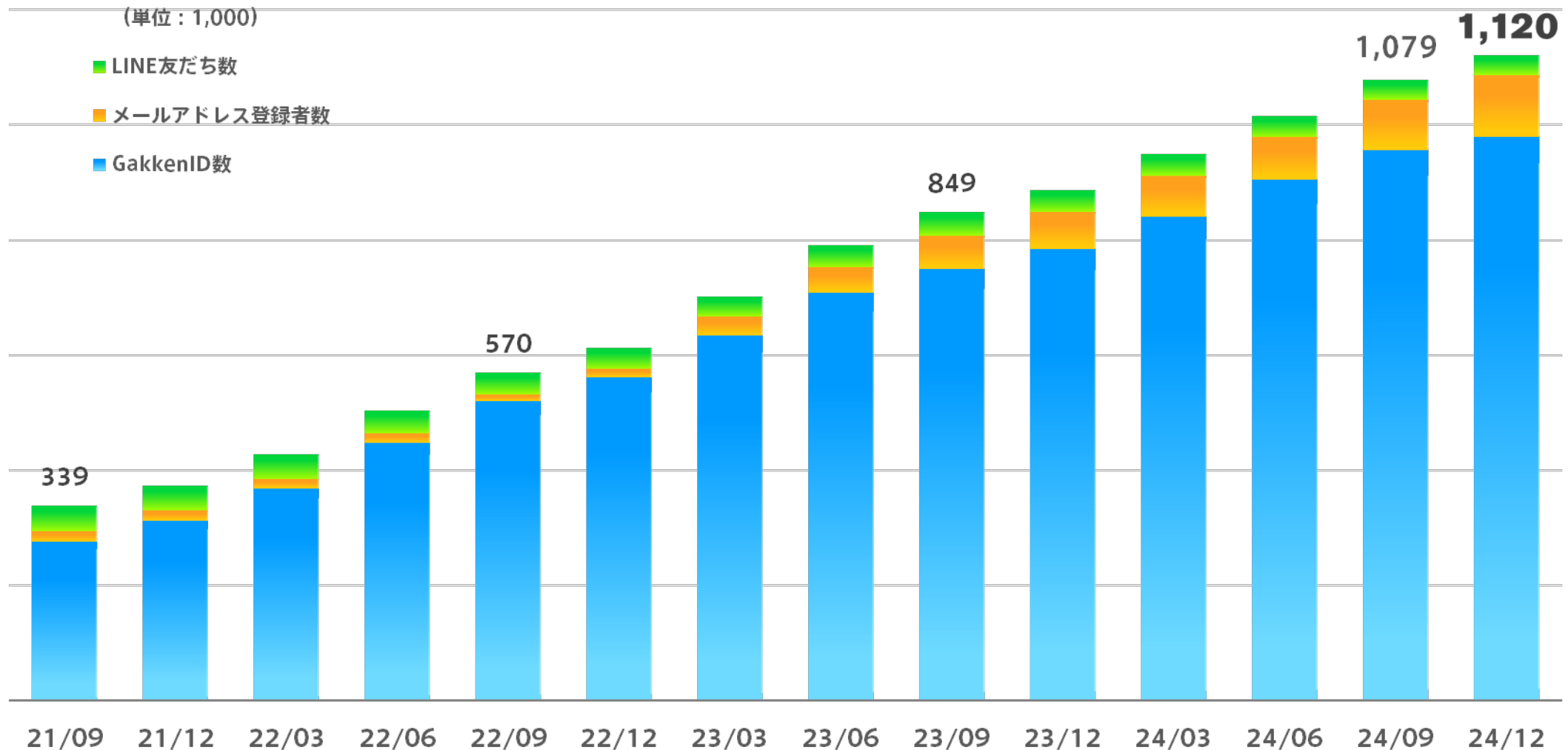
● 採択：所管の教育委員会または学校による決定

◎ 使用開始：各学校に供給し、児童生徒へ

			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
<b>Gakken</b>	小学	保健	△	●	◎		26年度 以降未定
<b>Gakken</b>	小学	道徳	△	●	◎		
<b>Gakken</b>	中学	保体		△	●	◎	
<b>Gakken</b>	中学	道徳		△	●	◎	
☒ 桐原書店	高校	英語	(英Ⅰ) ◎ (英Ⅱ) ● (英Ⅲ) △	(英Ⅰ) ◎ (英Ⅱ) ● (英Ⅲ) ●	(英Ⅰ) △ (英Ⅱ) ◎ (英Ⅲ) ◎	(英Ⅰ) ● (英Ⅱ) △ (英Ⅲ) ◎	
☒ 桐原書店	高校	国語	(必修) ◎ (選択) ●	(必修) ◎ (選択) ◎	(必修) △ (選択) ◎	(必修) ● (選択) △	

# DX戦略 グループ・ダイレクト・タッチポイント

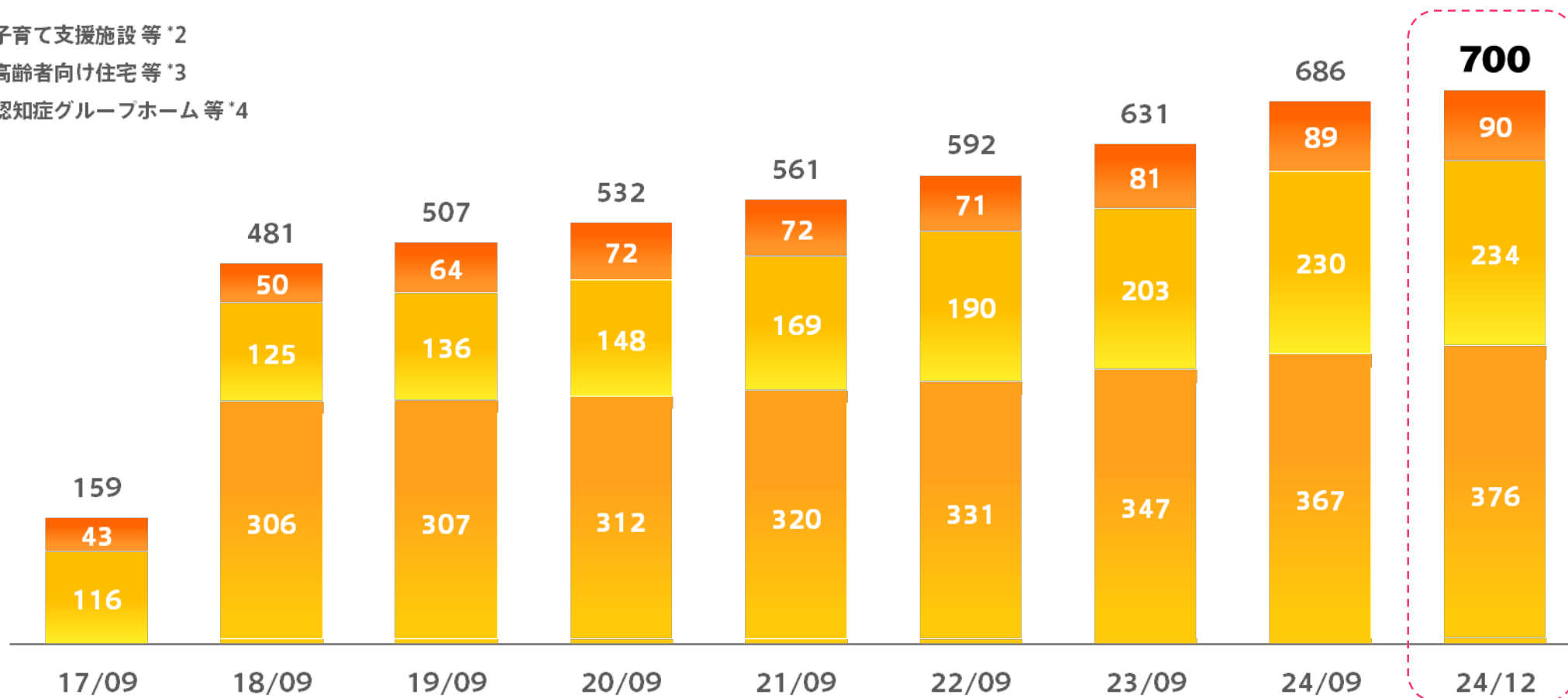
サービス毎のID取得合計数は100万件を超えて、なお順調に拡大中



# 医療福祉分野 拠点数推移<sup>\*1</sup>

積極的なM&Aを実施し、施設数を増加中

- 子育て支援施設等<sup>\*2</sup>
- 高齢者向け住宅等<sup>\*3</sup>
- 認知症グループホーム等<sup>\*4</sup>



<sup>\*1</sup> 記載の数値は新規開設数と閉鎖数の差し引きです。海外拠点を含み、(株)市進ホールディングスが運営する介護サービス拠点は含みません。

<sup>\*2</sup> 保育所、学童施設、児童発達支援施設、フリースクール、学習支援施設の合算。

<sup>\*3</sup> サービス付き高齢者向け住宅の他に、訪問介護ステーションなど他区分拠点を含みます。2023年11月に事業譲受したグランユニライフケアサービス社の拠点は、当第2四半期より合算。

<sup>\*4</sup> 認知症グループホームの他に、特定施設、小規模多機能型居宅介護拠点など他区分施設を含む。

# 医療福祉分野 開設<sup>\*1</sup>計画と進捗

高齢者住宅と認知症グループホーム合計10拠点開設し、積極的な新規開設ペースを継続  
 子育て支援施設は児童発達支援施設で開設し、今後は学童受託の増加を見込む

単位：開設数

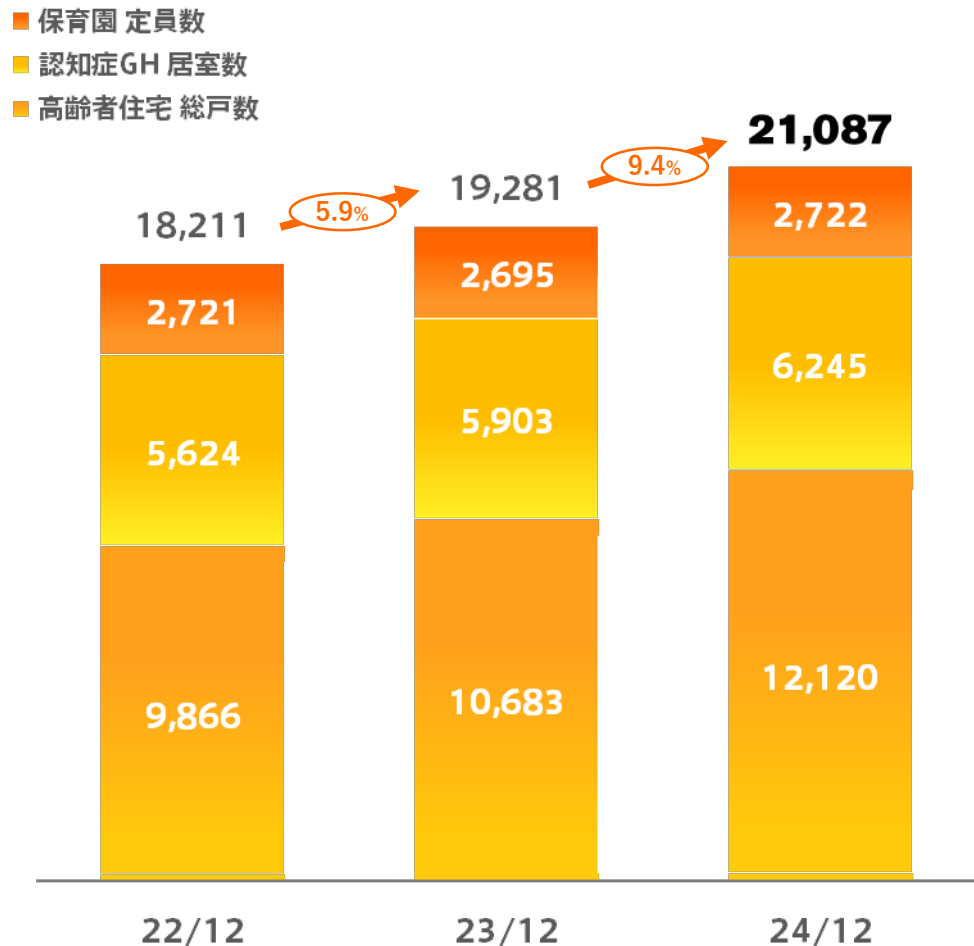
	2024/9期	2025/9期		
	前期 開設実績	通期 計画	1Q実績	対計画 進捗
高齢者住宅	27	24	4 M&A1件	16.7%
認知症 グループホーム	15	14	6 M&A6件	42.9%
子育て支援施設 <sup>*2</sup>	10	11	1	9.1%
合計	52	49	11	22.4%

※1 国内拠点のみの数値です。同期間の閉鎖数を差し引いておりません。(株)市進ホールディングスが運営する介護サービス拠点は含みません。

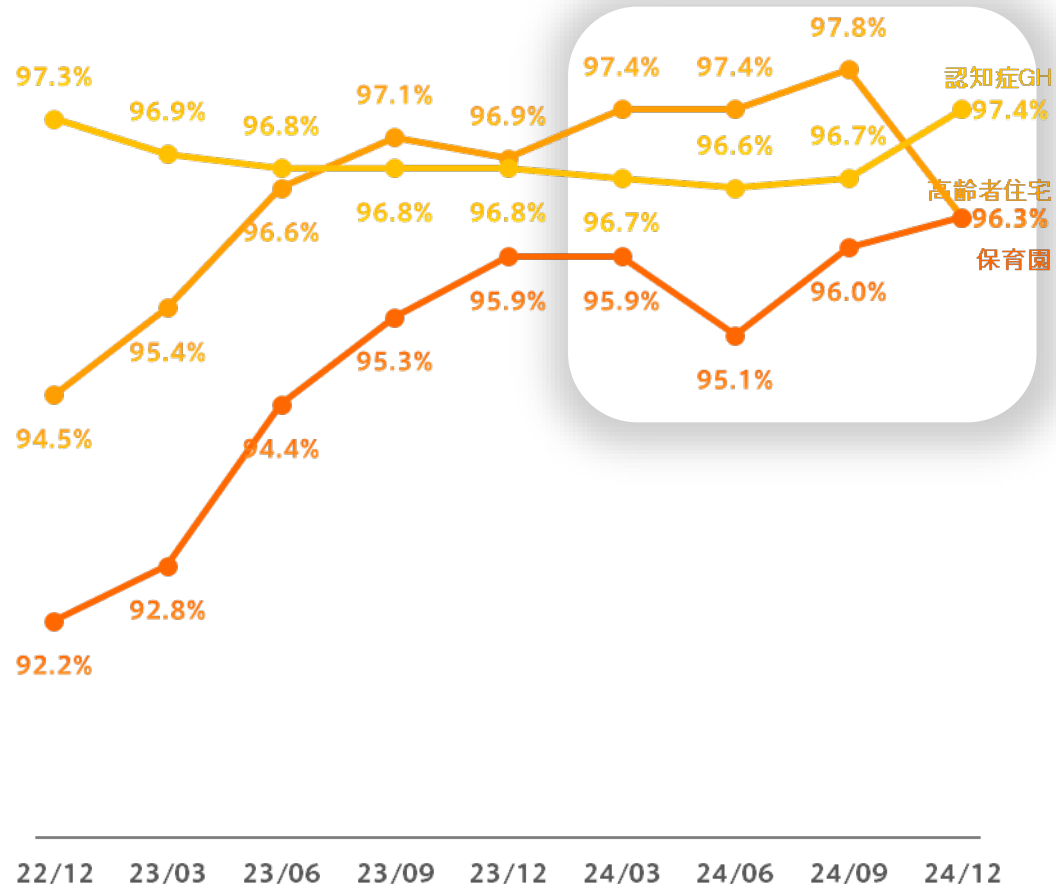
※2 保育所、学童施設、児童発達支援施設、フリースクール、学習支援施設の合算です。

# 医療福祉分野 キャパシティと稼働状況

## 総戸数・居室数・定員数推移



## 入居率・充足率推移



# 医療福祉分野 入居率・充足率

		21/09	22/03	22/09	23/03	23/09	24/03	24/09	24/12
高齢者住宅	総戸数	8,308	9,037	9,665	9,980	10,361	11,512	11,805	12,120
	入居数	7,505	8,345	9,073	9,519	10,062	11,210	11,541	11,671
	入居率	90.3%	92.3%	93.9%	95.4%	97.1%	97.4%	97.8%	96.3%
認知症 グループホーム	居室数*1	5,372	5,444	5,570	5,687	5,858	5,966	6,137	6,245
	入居率	97.8%	97.6%	97.7%	96.9%	96.8%	96.7%	96.7%	97.4%
子育て支援施設	定員数*2	2,661	2,664	2,721	2,721	2,695	2,695	2,722	2,722
	園児数	2,443	2,441	2,505	2,524	2,568	2,585	2,613	2,621
	充足率	91.8%	91.6%	92.1%	92.8%	95.3%	95.9%	96.0%	96.3%

\*1 認知症グループホームの居室数に他区分施設の居室数は含まれません。

\*2 子育て支援施設の定員数は保育所のみです。



今日、いくつ挑戦した？  
**Gakken**

株式会社 学研ホールディングス

本資料には、事業計画に関する記述が含まれております。こうした記述は、当資料の作成時点における経済環境や事業方針等の一定の前提に基づき作成しております。従って、実際の業績がこれらの事業計画とは異なるリスクや不確定要素が存在することを予めご承知おき下さい。